

## ▼ 幸せになる勇気 ▼

校長 阿南 孝也

国連が1985年に「世界青年の年」と宣言したのを受けて、カトリック教会では、復活祭の一週間前(受難の主日)を「世界青年の日(World Youth Day)」と定めて祝ってきました。そして世界中の青年に向けて、毎年教皇メッセージを発表してきました。始業式でも紹介した教皇フランシスコによる「2014年青年の日メッセージ」を再度紹介します。

皆さんにお聞きします。皆さんは本当に幸福を求めていますか。うわべの幸せにとらわれがちな現代において、私たちは、ささいなことで満足し、人生は「つまらないもの」だと考える危険にさらされています。そうではなく、偉大なものを求めてください。心を開いてください。福者ピエール・ジョルジョ・フラサーティが語ったように、「信仰も持たず、守るべき遺産もなく、真実を貫くために戦い続けることもなければ、それは生きているのではなく、引きずられているのです。私たちは、決して引きずられてはなりません」

もし、皆さんが自分の心の奥底にある願いを真に露わにするなら、そこに抑えることのできない幸せへの願望を見いだすでしょう。そして、自分の周りにある「安っぽい」誘惑の正体をあばき、それらを退けることができるでしょう。もし自分本位に成功、快樂、所有を求め、それらを偶像化するなら、私たちはそれらに酔いしれたり、自分が満たされたと錯覚したりするかもしれません。しかし最終的には、私たちはそれらの奴隷となり、決して満足することなく、常により多くを求めずにはいられなくなります。「すべてを手にして」いながら弱い若者を見るのは、とても悲しいことです。(中略)

潮流に逆らう勇気を持ってください。思い切って本当の幸せを探してください。その場限りで表面的な、使い捨て文化を否定してください。皆さんには責任を負ったり、人生の大きな課題に対処したりする力がないと考える文化を拒否してください。

洛星で学ぶ皆さんへのメッセージとして、とらえてほしいと思います。地表からある程度掘り下げたときに染み出てくる水で満足してほしくないのです。更に掘り下げて地下水脈に触れたとき、はじめて尽きることのない真の喜びを得ることができるからです。さらに、別々の井戸から掘り下げたにも関わらず地下で繋がっていたように、別々の知識や考え方に繋がりを発見したとき、学ぶ喜びを実感できるに違いありません。深く知れば知るほど、学ぶ楽しさを深めることができるのです。

今年一年間、学ぶ雰囲気を満たした学園を作り上げてゆきましょう。洛星の生徒たちが、教皇の呼びかけに応えて、流され妥協する生き方に甘んじることなく、勇気を持って、本当の幸せを求める生き方を選んでくれることを願っています。